

令和5年4～6月期 景気観測調査の結果について（ご報告）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
ご協力を頂いております標記調査について結果を取りまとめましたので、下記のとおり報告させていただきます。

記

1. 調査概要

- ・調査対象：県下商工会議所会員企業 585 社
- ・調査時期：6/2～6/15
- ・有効回答数：521 社（回収率 89.1%）

2. 令和5年4～6期「景況概要」

「経済活動の再開が進み、景況DIは2期連続の改善」

景況全体では、前年同期（令和4年4～6月）と比べて、「好転」から「悪化」を差し引いた総合DI値は▲7.8となり、前期に比べ3.4ポイント上昇し、2期連続の改善となった。

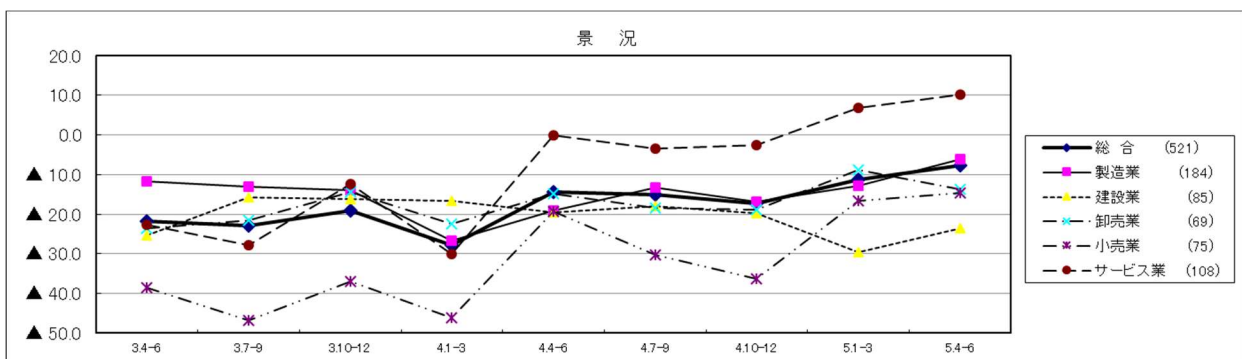
サービス業では飲食・宿泊が大きく改善したことなどからプラス幅が拡大し、製造業、建設業、小売業でもマイナス幅が縮小し改善した一方で、卸売業では、マイナス幅が拡大し悪化した。

5月には、新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に移行し、経済活動の再開が進んできたことや、仕入価格の上昇がようやく一服感を見せたこと等から、景況感が上向いたものと考えている。

今後も経済活動の本格化は見込まれるが、原材料やエネルギーコストは高止まりしたままで先行きを見通せないことや、新型コロナ対応の無利子・無担保のいわゆる「ゼロゼロ融資」返済の影響が懸念されることなどから、地域経済の動向を注視していく必要があると考えている。

※DIは各調査項目について判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向（「悪い」）の回答割合が多いことを示す。

DI＝（増加・好転など「良い」の回答割合）－（減少・悪化など「悪い」の回答割合）



景況	3.4-6	3.7-9	3.10-12	4.1-3	4.4-6	4.7-9	4.10-12	5.1-3	5.4-6	今期-前期
総合 (521)	▲21.8	▲22.9	▲19.0	▲27.7	▲14.5	▲15.0	▲17.3	▲11.2	▲7.8	3.4
製造業 (184)	▲11.7	▲13.1	▲14.0	▲26.7	▲19.1	▲13.2	▲16.8	▲12.9	▲6.0	6.9
建設業 (85)	▲25.3	▲15.7	▲16.1	▲16.7	▲19.5	▲18.0	▲19.8	▲29.5	▲23.5	6.0
卸売業 (69)	▲23.5	▲21.4	▲14.5	▲22.4	▲14.9	▲18.5	▲18.8	▲8.7	▲13.6	4.9
小売業 (75)	▲38.5	▲46.8	▲37.0	▲46.2	▲19.2	▲30.1	▲36.4	▲16.7	▲14.7	2.0
サービス業 (108)	▲22.7	▲27.8	▲12.3	▲30.1	0.0	▲3.5	▲2.6	6.8	10.2	3.4

3. 付帯調査：DX化の取り組みについて

(1) DX化に向けて取り組んでいる項目を選んでください。(複数回答可)

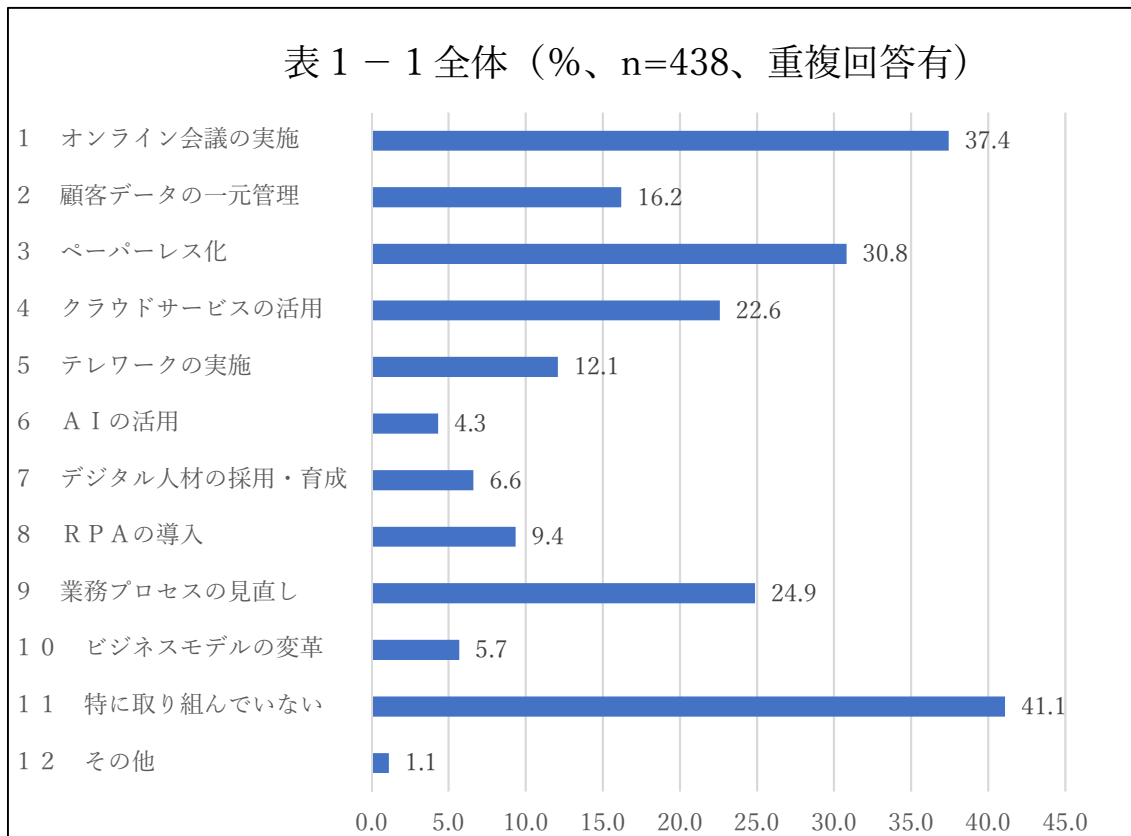
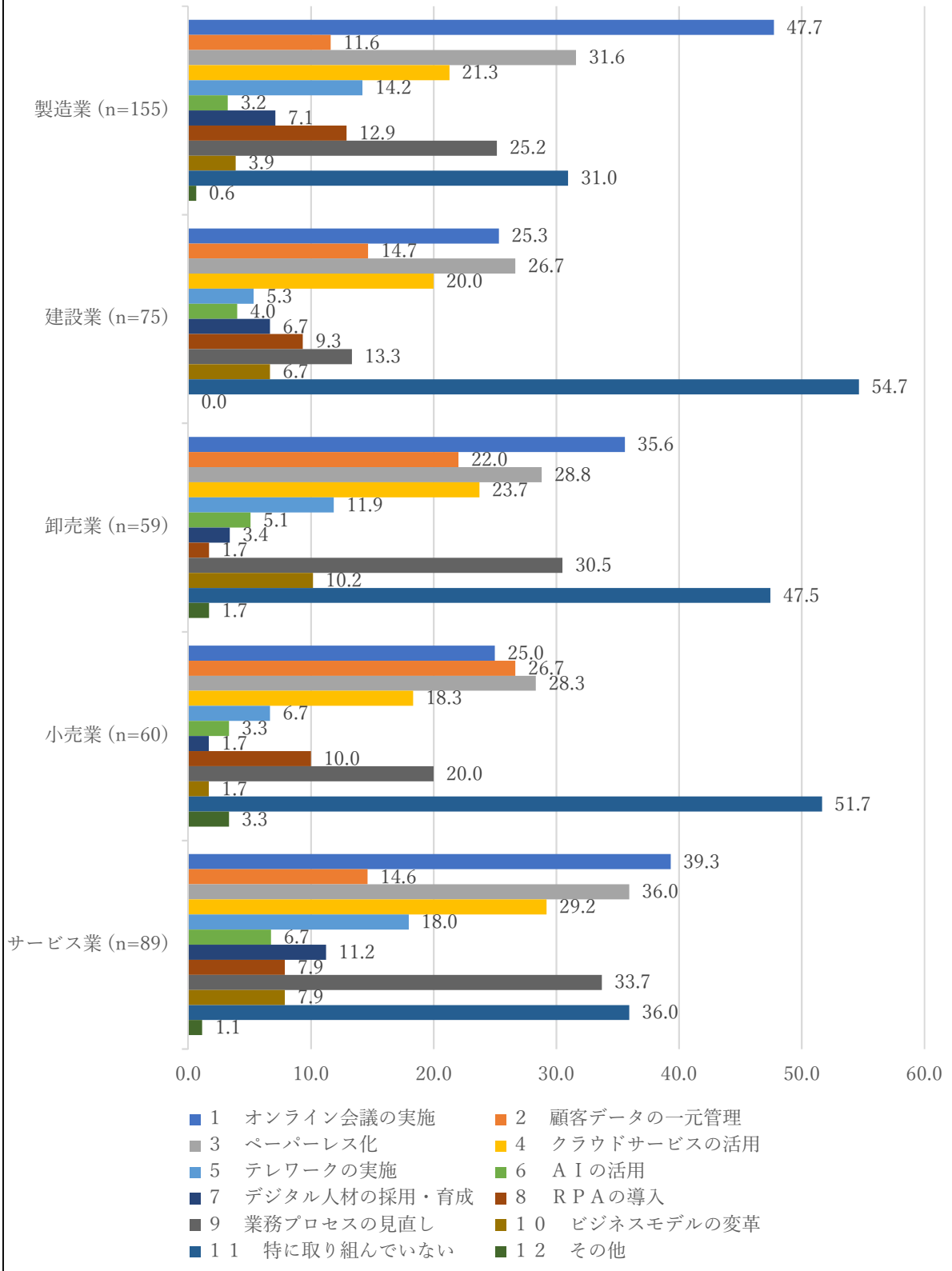


表1-2 業種別（%、重複回答有）



(2) DX化に向けて感じている課題について選んでください。(複数回答可)

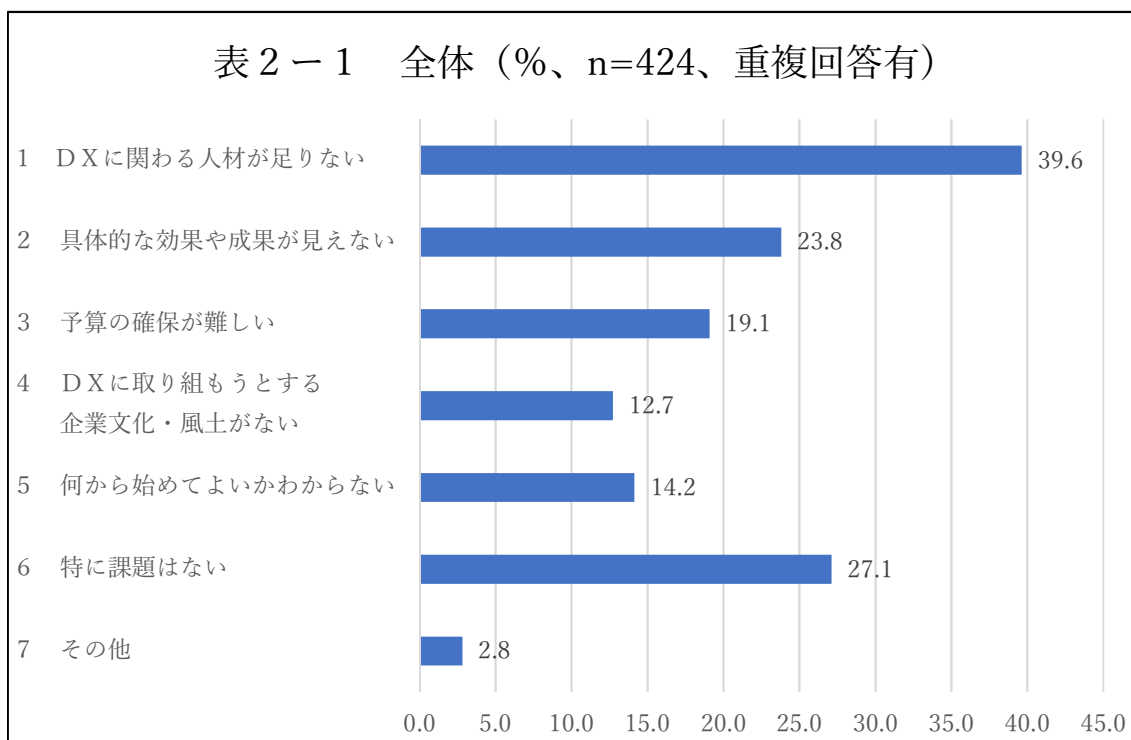


表 2-2 業種別（%、重複回答有）

